

請願第 6 号

教員の未配置の解消を求める請願

2025年2月14日

川崎市教育委員長 小田嶋 満様

請願者 住所 川崎市中原区
氏名 大前 博

請願の趣旨

学校に定められた教員が配置されない、いわゆる教員未配置問題が、深刻さを増しています。2024年度は、年度当初から131.5名の先生が未配置という前代未聞の状況からスタートしました。産休や育休、病気で休職する先生が出て代わりの先生を配置しきれない状況が続き、10月1日時点で市内174校中99校で180人の先生が配置されておらず、文字通り「教育に穴が開く」状況です。学校現場では、子どもたちの学ぶ権利が保障されていない深刻な事態がおこっています。

A 中学校 3ヶ月間 2クラス合同で授業を行なっている教科がある。

B 小学校 5名の教員が未配置

C 支援学校 10名の教員が未配置

D 小学校他 本来は35人以下学級なのに、担任を確保できず36人学級編制に。

E 小学校他 教務主任、特別支援コーディネーターが担任を兼務していて、過重負担になっている。

年度当初の教員未配置数をゼロにしない限り、こうした深刻な事態は毎年繰り返されてしまいます。令和2024年度4月5日時点の状況は、欠員255.5名、欠員未充足83.5名、産休代替未充足33名、休職代替未充足15名で教員未充足は131.5名となっています。欠員数を大幅に減らし、産育休未充足、休職代替未充足をゼロにすることが必要です。

	教員未配置数(市教委提供資料より作成)	
	年度初め	年度末
2021年度	10人	86人
2022年度	54人	136.5人
2023年度	61.5人	146.5人
2024年度	131.5人	180人 (10月)

また、2022年度の定年退職者が120人であるのに対し、定年前退職者数が151人にのぼります。定年前退職のうち20代、30代の方の割合が大きくなっています。正規教員として採用された教員が学校を去っていくという事は大きな損失です。

病気休職者とりわけ精神疾患により休職する教員が年々増加していることも教員未配置に拍車をかけています。教職を志望する人を増やす上で、教員の労働環境を改善することが不可欠です。

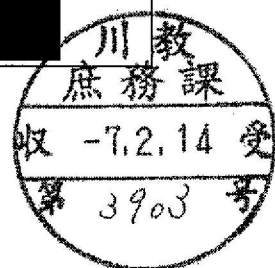
子どもたちは、不登校の増加、いじめ件数の増加というかたちでヘルプサインを出しています。これに教職員がしっかり応答できるようにするため、以下の事項を請願します。

請願事項

年度当初4月時点の産育休代替未充足、休職代替未充足をふくむ教員の未充足数をゼロにすること。

賛同者

名前	住所
	川崎市多摩区
	川崎市中原区
	川崎市高津区
	川崎市麻生区
	川崎市中原区
	横浜市港北区
	川崎市中原区
	川崎市川崎区



(資料1)

(資料1)-1

2025年1月1日時点の教育未配置

(川崎市教育委員会提供資料)

2024年度 学校別 未充足教職員一覧

令和7年1月1日現在

教諭

	欠員未充足	産育休未充足	休職未充足	未充足計	教科等	非常勤配置
川崎市立殿町小学校	0	0	0	0		
川崎市立四谷小学校	0.5	1	0	1.5		あり
川崎市立東門前小学校	0.5	0	0	0.5		あり
川崎市立大師小学校	2	1	1	4		あり
川崎市立川中島小学校	1	0	0	1		あり
川崎市立藤崎小学校	0	1	0	1		あり
川崎市立さくら小学校	1	1	0	2		あり
川崎市立大島小学校	2	1	0	3		あり
川崎市立渡田小学校	1	1	1	3		あり
川崎市立東小田小学校	0	2	0	2		あり
川崎市立小田小学校	0	1	0	1		あり
川崎市立浅田小学校	0	0	0	0		
川崎市立東大島小学校	0	0	1	1		
川崎市立向小学校	1	1	0	2		
川崎市立田島小学校	1.5	0	0	1.5		
川崎市立新町小学校	1	2	0	3		あり
川崎市立旭町小学校	1	0	2	3		
川崎市立宮前小学校	0	2	0	2		あり
川崎市立川崎小学校	0	0	0	0		
川崎市立京町小学校	1	1	0	2		あり
川崎市立幸町小学校	0	1	0	1		あり
川崎市立南河原小学校	0	0	0	0		
川崎市立御幸小学校	3	1	0	4		
川崎市立西御幸小学校	0	1	0	1		あり
川崎市立戸手小学校	0	0	0	0		
川崎市立古川小学校	0	4	0	4		あり
川崎市立東小倉小学校	0	1	0	1		
川崎市立下平間小学校	0	0	0	0		
川崎市立古市場小学校	0	3	0	3		あり
川崎市立日吉小学校	0	1	0	1		あり
川崎市立小倉小学校	0	0	0	0		
川崎市立南加瀬小学校	0	0	0	0		
川崎市立夢見ヶ崎小学校	1	0	0	1		
川崎市立下河原小学校	0	0	1	1		あり
川崎市立平間小学校	1	1	1	3		あり
川崎市立玉川小学校	2	1	0	3		あり
川崎市立下沼部小学校	0	4	0	4		あり
川崎市立荻宿小学校	1	0	0	1		
川崎市立木月小学校	0	0	0	0		
川崎市立東住吉小学校	0	1	0	1		あり
川崎市立住吉小学校	0	0	0	0		
川崎市立井田小学校	0	0	0	0		
川崎市立今井小学校	1	0	1	2		
川崎市立上丸子小学校	0	1	1	2		あり
川崎市立西丸子小学校	0	0	0	0		
川崎市立中原小学校	2	0	0	2		あり
川崎市立宮内小学校	2	1	0	3		あり

	欠員未充足	産育休未充足	休職未充足	未充足計	教科等	非常勤配置
川崎市立大戸小学校	0	0	0	0		
川崎市立下小田中小学校	0	2	0	2		あり
川崎市立新城小学校	0	1	0	1		
川崎市立大谷戸小学校	2	1	0	3		あり
川崎市立小杉小学校	2	1	0	3		あり
川崎市立子母口小学校	0	1	1	2		あり
川崎市立橋小学校	0	0	1	1		
川崎市立末長小学校	0	1	2	3		あり
川崎市立新作小学校	0	0	0	0		
川崎市立東高津小学校	0	0	0	0		
川崎市立坂戸小学校	0	0	1	1		あり
川崎市立久本小学校	0	1	0	1		あり
川崎市立下作延小学校	0	0	0	0		
川崎市立高津小学校	0	1	1	2		あり
川崎市立梶ヶ谷小学校	0	0	0	0		
川崎市立西梶ヶ谷小学校	1	0	0	1		
川崎市立久末小学校	1	1	0	2		あり
川崎市立上作延小学校	1	1	0	2		
川崎市立南原小学校	0	0	0	0		
川崎市立久地小学校	0	0	0	0		
川崎市立野川小学校	0	0	0	0		
川崎市立西野川小学校	0	0	2	2		あり
川崎市立南野川小学校	1	2	0	3		あり
川崎市立宮崎小学校	0	1	0	1		あり
川崎市立鷺沼小学校	1	0	0	1		あり
川崎市立有馬小学校	1	0	0	1		あり
川崎市立西有馬小学校	2	0	0	2		あり
川崎市立富士見台小学校	1	3	0	4		あり
川崎市立宮前平小学校	0	2	1	3		あり
川崎市立宮崎台小学校	3	1	0	4		あり
川崎市立向丘小学校	1	2	0	3		あり
川崎市立平小学校	1	0	0	1		
川崎市立白幡台小学校	0	1	0	1		あり
川崎市立蒼生小学校	0	0	0	0		
川崎市立稗原小学校	0	0	0	0		
川崎市立犬蔵小学校	2	3	0	5		あり
川崎市立土橋小学校	1	5	0	6		あり
川崎市立福田小学校	0	1	0	1		
川崎市立長尾小学校	0	0	0	0		
川崎市立宿河原小学校	0	0	1	1		あり
川崎市立登戸小学校	1	0	0	1		あり
川崎市立中野島小学校	1	0	0	1		
川崎市立下布田小学校	0	0	0	0		
川崎市立東菅小学校	0	0	0	0		
川崎市立南菅小学校	1	0	0	1		あり
川崎市立西菅小学校	0	1	0	1		あり
川崎市立菅小学校	2	0	0	2		あり
川崎市立東生田小学校	0	1	1	2		あり
川崎市立三田小学校	0	0	0	0		
川崎市立生田小学校	1	1	0	2		あり
川崎市立南生田小学校	0	1	1	2		あり
川崎市立長沢小学校	0	0	0	0		

(資料1)-3

	欠員未充足	産育休未充足	休職未充足	未充足計	教科等	非常勤配置
川崎市立西生田小学校	0	0	1	1		
川崎市立千代ヶ丘小学校	0	0	0	0		
川崎市立金程小学校	0	0	0	0		
川崎市立百合丘小学校	0	0	0	0		
川崎市立南百合丘小学校	1	0	0	1		
川崎市立麻生小学校	0	0	0	0		
川崎市立東柿生小学校	1	0	0	1		あり
川崎市立王禪寺中央小学校	0	0	0	0		
川崎市立真福寺小学校	0.5	1	0	1.5		あり
川崎市立虹ヶ丘小学校	0	1	0	1		あり
川崎市立柿生小学校	0	1	0	1		あり
川崎市立岡上小学校	0	1	0	1		あり
川崎市立片平小学校	0	0	0	0		
川崎市立栗木台小学校	0	0	0	0		
川崎市立はるひ野小学校	0	1	1	2		あり
計	56	77	23	156		

(資料1)-4

	欠員未充足	産育休未充足	休職未充足	未充足計	教科等	非常勤配置
川崎市立大師中学校	0	0	0	0		
川崎市立南大師中学校	0	0	1	1	国語	
川崎市立川中島中学校	0	0	0	0		
川崎市立桜本中学校	0	0	0	0		
川崎市立臨港中学校	0	0	0	0		
川崎市立田島中学校	0	0	0	0		
川崎市立京町中学校	0	0	0	0		
川崎市立渡田中学校	0	0	0	0		
川崎市立富士見中学校	1	0	0	1	英語	あり
川崎市立川崎中学校	0	0	0	0		
川崎市立川崎高等学校附属中	1	0	0	1	英語	
川崎市立南河原中学校	0	1	0	1	英語	あり
川崎市立御幸中学校	0	0	1	1	国語	
川崎市立塚越中学校	0	0	0	0		
川崎市立目吉中学校	0	0	0	0		
川崎市立南加瀬中学校	1	0	0	1	国語	
川崎市立平間中学校	0	0	0	0		
川崎市立玉川中学校	0	1	1	2	国語2人	
川崎市立住吉中学校	0	0	0	0		
川崎市立井田中学校	0	0	0	0		
川崎市立今井中学校	0	0	0	0		
川崎市立中原中学校	0	0	0	0		
川崎市立富内中学校	0	0	0	0		
川崎市立西中原中学校	0	0	0	0		
川崎市立東橋中学校	0	1	0	1	支援級(保体)	
川崎市立橋中学校	0	0	0	0		
川崎市立高津中学校	0	0	0	0		
川崎市立東高津中学校	0	0	0	0		
川崎市立西高津中学校	0	1	0	1	英語	
川崎市立宮崎中学校	0	1	0	1	保体	
川崎市立野川中学校	0	0	1	1	英語	あり
川崎市立有馬中学校	1	0	0	1	特別支援	あり
川崎市立富前平中学校	2	0	1	3	国語、社会2	あり
川崎市立向丘中学校	0	2	0	2	美術、音楽	あり
川崎市立平中学校	0	0	0	0		
川崎市立菅生中学校	0	0	0	0		
川崎市立犬蔵中学校	0	0	0	0		
川崎市立稲田中学校	0	0	0	0		
川崎市立栢形中学校	0	0	0	0		
川崎市立中野島中学校	0	0	0	0		
川崎市立南菅中学校	0	0	0	0		
川崎市立菅中学校	0	0	0	0		
川崎市立生田中学校	0	0	0	0		
川崎市立南生田中学校	0	0	0	0		
川崎市立西生田中学校	1	0	0	1	数学	あり
川崎市立金程中学校	0	0	0	0		
川崎市立長沢中学校	0	0	0	0		
川崎市立麻生中学校	0	0	1	1	英語	あり

(資料1)-5

	欠員未充足	産育休未充足	休職未充足	未充足計	教科等	非常勤配置
川崎市立柿生中学校	0	0	0	0		
川崎市立王禅寺中央中学校	0	0	0	0		
川崎市立白鳥中学校	0	0	0	0		
川崎市立はるひ野中学校	0	0	0	0		
計	7	7	6	20		

川崎高(全)	1	0	0	1	家庭科	あり
幸高(全)	0	0	0	0		
川崎総合科学高(全)	0	0	1	1	家庭科(実習助手)	
橋高(全)	0	0	0	0		
高津高(全)	0	0	1	1	芸術(書道)	
計	1	0	2	3		

川崎高(定)	0	0	0	0		
川崎総合科学高(定)	1	0	0	1	工業(機械)	
橋高(定)	1	0	0	1	理科	あり
高津高(定)	0	0	0	0		
計	2	0	0	2		

川崎市立塾学校	0.5	0	0	0.5	※	あり
川崎市立中央支援学校	8	2	1	11		あり
川崎市立田島支援学校	4	5	1	10		あり
計	12.5	7	2	21.5		

・教科等欄に「※」があるのは、欠員未充足のうち0.5が育児短時間勤務の取得に関連するもの

(資料2) 2025年1月1日時点での未配置

— (資料1) を整理したその —

欠員 200人超える! (202.5人)

緊急に学校に先生を配置してください!

2024年度

学校別未充足教職員一覧

*市教委提供資料より作成しています。

*育児短時間勤務・再任用短時間勤務は0.5扱いになっています。

*療休3ヶ月未満の人は数に含まれていません。

令和7年1月1日現在

小学校(1)

川崎区	殿町小	0
	四谷小	1.5
	東門前小	0.5
	大師小	4
	川中島小	1
	藤崎小	1
	大島小	3
	渡田小	3
	東小田小	2
	小田小	1
	浅田小	0
	東大島小	1
	向小	2
	田島小	1.5
	新町小	3
	旭町小	3
	宮前小	2
	川崎小	0
	京町小	2
	さくら小	2
幸区	幸町小	1
	南河原小	0
	御幸小	4
	西御幸小	1
	戸手小	0
	古川小	4
	下平間小	0
	古市場小	3
	日吉小	1
	小倉小	0
	南加瀬小	0
	夢見ヶ崎小	1
	東小倉小	1

小学校(2)

川崎区	下河原小	1
	平間小	3
	玉川小	3
	下沼部小	4
	荻宿小	1
	木月小	0
	東住吉小	1
	住吉小	0
中原区	井田小	0
	今井小	2
	上丸子小	2
	西丸子小	0
	中原小	2
	宮内小	3
	大戸小	0
	下小田中小	2
	新城小	1
	大谷戸小	3
	小杉小	3
高津区	子母口小	2
	橋小	1
	末長小	3
	東高津小	0
	坂戸小	1
	久本小	1
	高津小	2
	梶ヶ谷小	0
	久末小	2
	上作延小	2
	久地小	0
	下作延小	0
	西梶ヶ谷小	1
	新作小	0
	南原小	0
宮前区	野川小	0
	西野川小	2
	南野川小	3
	宮崎小	1
	鷺沼小	1
	有馬小	1
	西有馬小	2
	富士見台小	4

小学校(3)

川崎区	宮前平小	3
	宮崎台小	4
	向丘小	3
	平小	1
	白幡台小	1
	菅生小	0
	犬蔵小	5
	稗原小	0
	土橋小	6
多摩区	稲田小	1
	宿河原小	1
	登戸小	1
	中野島小	1
	下布田小	0
	東菅小	0
	菅小	2
	東生田小	2
	三田小	0
	生田小	2
	南生田小	2
	長尾小	0
	南菅小	1
	西菅小	1
麻生区	長沢小	0
	西生田小	1
	千代ヶ丘小	0
	百合丘小	0
	南百合丘小	1
	東柿生小	1
	虹ヶ丘小	1
	柿生小	1
	真福寺小	1.5
	栗木台小	0
	片平小	0
	岡上小	1
	金程小	0
	麻生小	0
	はるひ野小	2
	玉禅寺中央小	0

中学校(1)

川崎区	大師中	0
	南大師中	1
	川中島中	0
	桜本中	0
	臨港中	0
	田島中	0
	京町中	0
	渡田中	0
	富士見中	1
	川崎中	0
	川崎付属中	1
幸区	南河原中	1
	御幸中	1
	塚越中	0
	日吉中	0
	南加瀬中	1
中原区	平間中	0
	玉川中	2
	住吉中	0
	井田中	0
	今井中	0
	中原中	0
	宮内中	0
	西中原中	0
高津区	東橋中	1
	橋中	0
	高津中	0
	西高津中	1
	東高津中	0
宮前区	宮崎中	1
	野川中	1
	有馬中	1
	宮前平中	3
	向丘中	2
	菅生中	0
	犬蔵中	0
	平中	0

中学校(2)

多摩区	福田中	0
	枳形中	0
	中野島中	0
	菅中	0
	生田中	0
	南生田中	0
	南菅中	0
麻生区	西生田中	1
	長沢中	0
	柿生中	0
	白鳥中	0
	金程中	0
	麻生中	1
	玉禅寺中央中	0
	はるひ野中	0

高校

川崎高(全)	1
川崎高(定)	0
幸高校	0
総合科学全	1
総合科学定	1
橋高全	0
橋高定	1
高津高全	1
高津高定	0

特別支援

聾学校	0.5
中央支援	11
田島支援	10

養護教諭

なし	
----	--

学校事務

なし	
----	--

「え！200人超えたの！これじゃ学校が持たない。それなのに来年度の市の教育予算は、教員の確保のために、採用合格者上位40人に200万円までの奨学金援助。」



小学校計 156人 中学校計 20人(教諭)

高校計 5人(教諭)特別支援学校 計21.5人(教諭)

今年の2倍！4月時点で教員未配置131.5人 教育委員会は子どもの学習環境に責任を持って！



ほんりゅう

(川崎)

第169号
川崎市
教職員連絡会

中原区下沼部
1885
中小業者総合
センター303号

Tel・Fax
433-1413
メール
renrakukai@
ae.aunet.jp

未配置数	全校数	1名	2名	3名	4名	5名	7名	未配置合計
小学校	114校	40校	15校	8校	2校			65校
中学校	52校	4校	1校					5校
高校(全+定)	5校	3校	1校					4校
特別支援学校	4校	1校				1校	1校	3校
合計	174校	48校	17校	8校	2校	1校	1校	77校

14校で教務主任・特別支援コーディネーターが担任を兼務！

教務主任や特別支援コーディネーターが担任を兼務して本来業務に支障

このような状況に陥っているのは、川中島小、旭町小、宿河原小、片平小、東門前小、大島小、田島小、新町小、平間小、宮崎台小、平小、登戸小、小倉小、末長小の14校。(市教委資料による)

年度当初から4名～7名先生が足りない！！

御幸小と犬蔵小では、現在4名の先生が未配置。また、田島支援学校では5名、中央支援学校では7名の教員がそれぞれ未配置です。これでは学校運営が困難ではないでしょうか。

教職員の未配置数(R6.4.5)

小学校	106.5人
中学校	7人
高校	5人
特別支援学校	13人
小計	131.5人
養護教諭	1人
事務職員	6人
総計	138.5人

四月五日、教員の未配置が、83校で131.5名になっていることがわかりました。今年度は、年度当初から昨年(61.5名)の2倍を上回る大量の教員未配置でのスタートです。これでは、現場の頭張りだけで子どもたちの学ぶ権利を保障することは困難です。不登校・いじめの大幅増加で苦しんでいる子どもたちの願いに応えるためにも、市教委は、最優先でこの問題の解決に当たるべきです。

こんな状況は、一刻も早くなくしてください！！

教員が配置できないため 少人数学級を実施できない？！

古市場小学校の4年生、富前平小学校の5年生、富士見台小学校の1年生、宮崎台小学校の2年生では、先生が配置できないため、1学級35人を超えて編成せざるを得なくなっています。こんな不平等が許されて良いはずはありません。(市教委提供資料による)



支援学級の先生方が苦勞しています。

A校とB校の特別支援学級では臨時任用の先生が確保できず、(禁止されているにもかかわらず)非常勤の先生に担任をさせていると聞いています。C校では特別支援学級の子どもが増え続け、担任の付き添いが必要ない子どものみ、体育などの交流教科に一人で参加。支援が必要な子は参加できません。

D校ではサポーターさんが減らされました。教室から脱走する一年生が二人いるので担任一人では大変です。

年度当初から未配置
になる最大の要因

正規教員の非正規教員への置き換え

4月5日昨年の2倍の未配置

4月5日時点(人)	2023年度	2024年度
新規採用者数	358	379
正規教員の欠員	238.5	307.5
欠員補充の臨時任用	210	217
①欠員未配置	28.5	83.5
②産休・療休代替未配置	19	33
③休職者代替未配置	12	15
未配置 合計	59.5	131.5

「教師不足の最大の要因は、教育委員会が、正規教員を非正規教員に置き換えていること」

(片山善博・前鳥取県知事、元総務大臣)
雑誌「世界」2022年7月号

欠員未配置が83.5人で産休・療休の代替の先生が年度当初からマイナスの状態なんだ



今年の倍以上の未配置でスタート…これではまともな教育ができません！！

(資料4)

校種別 未配置教員数の分布 (2025年2月12日/市教委提供資料)									
未配置数	全校数	1名	2名	3名	4名	5-6名	10-11名	未配置合計	
小学校	114校	35校	23校	14校	6校	5名1校 6名1校		80校	158人
中学校	52校	13校	2校	1校				16校	20人
高校(全+定)	5校	1校	2校					3校	5人
特別支援学校	3校	1校					10名1校 11名1校	3校	22人
合計	174校	50校	27校	15校	6校	2校	2校	102校	205人

(資料1) をもとに、0.5人→1人、1.5人→2人と書き改めて作成。

(資料5)

「教員未配置が倍増 教員不足深刻化も有効策なく」より

(教育新聞 2024年 7月25日)

欠員が2年続いたある川崎市立小学校の女性教員の話

「2022年4月中旬から4年生の学級担任が体調を崩して休暇に入り、年度末まで担任不在が続いた」

「この間、児童支援コーディネーターと英語専科の教員ら3人で教科を分担したが、どの先生を頼ればいいのか不安になる子どもや授業が始まっても席につかない子どもが出始めるなど、クラスの雰囲気が悪くなる様子を感じた」

「担任の存在は大きいと改めて感じました。未配置で一番被害を受けるのは子どもだと思いました」

「さらに翌年度、特別支援学級の教員が体調を崩して退職して欠員が生じ、女性教員も新たに数人の児童を受け持つことになった。」「通常業務にプラスした作業で疲労がたまり、咳が止まらなくなったり腰痛が続いたり体調不良が続いたが、自分が休むとさらに他の先生の負担になる。休んではいけないとの一心で乗り越えました」「教員の負担も大変ですし、欠員が生じる分、子どもたちの安全や教育活動が手薄になってしまいます。こうした事態を教育委員会はどう受け止めているのでしょうか」

(資料6)

	教員未配置数(市教委提供資料より作成)	
	年度初め	年度末
2021年度	10人	86人
2022年度	54人	136.5人
2023年度	61.5人	146.5人
2024年度	131.5人	202.5人(1月)

(資料7)

2024年度 仙台市・川崎市の教員未配置理由別比較(単位:校)						
自治体名(月)	学校総数	休職者	産育休者	欠員補充	家庭支援	合計
仙台市(4月)	178	4	38	1	1	44
川崎市(4月)	174	15	31	53	0	99
仙台市(1月)	178	30	12	1	0	43
川崎市(1月)	174	30	61	55	0	146
仙台市(仙台市教職員組合が市教委提供資料より作成)						
川崎市(川崎市教育委員会提供資料より作成)						

※未配置の理由別学校数。「合計」は理由別学校数の単純合計。(川崎市174校、仙台市178校)

(資料8) 東京都公立学校教員等奨学金事業について

令和7年度採用者の申込みは、令和7年4月1日(火)から5月26日(月)までです。

次年度以降、毎年度新規採用者向けに募集を行います。

対象者	令和7年度採用者から対象 都内公立学校(幼稚園～高等学校、特別支援学校)に就職した学生・社会人経験者等 ※要件をみなす者全員を対象とし、人数の上限なし
対象となる奨学金	独立行政法人日本学生支援機構の第一種奨学金及び第二種奨学金 代理返還制度があり、東京都教育委員会が認める公的機関等実施の貸与型奨学金
申込期間	令和7年4月1日(火)から令和7年5月26日(月)
交付決定	令和7年10月頃
支援期間	採用2～11年目の10年間支援(令和8～17年度)
支援方法	奨学金の返還総額の2分の1(支援額の上限:150万円)を10で除した金額※を、代理返還制度を活用し、毎年度4～5月頃に奨学金貸与団体へ都が直接支払い ※返済期間が10年未満の場合は当該期間(例:9年の場合9)で除した金額

(東京都教育委員会 ホームページより転載)

(資料9) 別紙 川崎市奨学金返還支援事業

(資料9)

令和7年度実施
選考試験から対象!

奨学金 返還支援事業

川崎市教育委員会では、優秀な人材の確保と教員不足の解消を目的として、奨学金返還支援制度を新たに開始します。

この制度は、令和7(2025)年度実施教員採用候補者選考試験の成績上位者を対象に、奨学金の返還を最大200万円まで支援するものです。

対象奨学金 日本学生支援機構の第一種奨学金及び第二種奨学金

対象者 令和7(2025)年度実施教員採用候補者選考試験の合格者の中から、成績上位者40名程度

支援額 上限200万円
※支援額を10分割し、採用2年目から10年間支給
※その他諸条件があります

詳細は今後、市ホームページにて公表します。

令和7年度
川崎市教員採用試験
募集要項刊